

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	コロナワクチン接種の時期が不透明。集団接種による会場への同行は困難。接種の時期に、接種が不適とならないような健康管理も、接種時期と方法が明確にならないと役職員が息切れする。接種後も、初めてのことなので、副反応など脅威。	1.接種時期まで健康管理を厳にする 2.接種後、副反応等に適切に対応する	1.訪問診療の主治医と密接に連携し、接種まで、接種後の健康管理を厳にする 2.接種方法、場所について、当ホームに訪問診療の主治医が実施できるように、町と密接に連携し、要望を貫徹する	12ヶ月
2	34	あってはならないことだがCOVID-19感染者を出した際の施設としての対応手順や行動マニュアルが明確ではない。県の所管課が発出したマニュアルがあるが、大規模施設向けで、参考にはなるが、ダウンサイジングの想定がつかない。	1.ご入居のお客様のみならず、役職員も感染しない 2.役職員は無症状の感染者であると常に自覚した行動	1.国、県、町から発出されている感染症対策指針等の徹底と朝礼、夕礼、訓示等で意識涵養に努める 2.感染者を出した際のマニュアル整備。県の所管課が発出したマニュアルをアレンジする。	3ヶ月
3	20	面会が制限下にあり、自由にかつ気軽に、時間を気にしない面会が困難になって不自由を強いることとなった。ZoomやLINE電話等でテレビ電話や会議が可能であるが、代替になりえない。家族と自由に面会できないことは、何よりの害である。	コロナ禍にあっても、自由な面会を実現する	1.国、県、町から発出されている感染症対策指針等の徹底 2.屋外、当ホーム庭園での面会を楽しめる工夫。例:庭園のテーブルや和室前の広い濡れ縁(テラス)で軽食や会食の実施	3ヶ月
4	49	外出が制限下にあり、特にマスク着用の意味を数分で解さなくなる場合もあり、ある程度の時間さえ、滞留が許されなくなった昨今では、スーパーや商業施設はもとより、不要不急の外出を控えるはたらきかけもあって、外出が事実上困難となった。	コロナ禍にあっても、自由な外出を実現する	1.マスク着用の意味を解さなくとも安心して外出できる先として、屋外で楽しめる場所の探索と時期の検討と実践 2.屋外、当ホーム庭園であたかも外出したのと同様に楽しめる施策の検討と実践	3ヶ月
5	2	開業前:常設するオレンジカフェ、認知症カフェを志向。当ホーム開設が3年遅延しカフェも計画変更。令和2年4月以降、まずは不定期で開始を企図するも準備段階でコロナ禍。新常态(ニューノーマル)化におけるカフェを軸とした地域交流を模索	グループホームが発信し、活動する、新常态(ニューノーマル)化におけるカフェを軸とした地域交流	1.地元自治会(町内会)に法人会員として参加しているので、班長、自治会役員と交流し、目標にかなう地域の課題を探る 2.自治会の行事に参加が可能な入居者とともに参加し、住民と交流し、目標にかなう地域の課題を探る	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。